地方独立行政法人 広島市立病院機構

## 1. 調達物件の背景及び目的

(1) 現在、当院手術室には移動式術中 X 線透視診断システム (C アーム) が 3 台あるが、いずれもフラットパネルディテクタではない従来型である。

従来型 C アームでは X 線を増幅した後にデジタル化するが、2 度の変換過程があるために画質が劣化しやすく、そのため 2 次元画像評価の際にも細かい骨構造が見えにくく、手術のリスクの原因になっている。

一方、フラットパネルディテクタは X 線を直接デジタル化するため少ない X 線量で高画質を得ることができるため、小さな骨片の評価や脊椎手術時の棘突起マーキーングなど繊細な手術手技を安全に行うことができる。

(2) 本システムでは C アームを 180 度回転させることにより、骨の 3 次元画像を術中に短時間で撮影するとともに、ナビゲーションシステムと連携し術者が手術している部位を正確に把握することにより、正確な脊椎スクリュー挿入や人工関節設置が可能になる。

また、あらゆる脊椎骨関節手術を安全かつ正確に短時間で行うことができ、それによって手術件数 の増加と増収が見込める。

なお、低被ばくの機器であるため、術者等への術中 X 線被爆が軽減できることも大きな利点である.

(3) 導入後の装置は、平成34年度開院の新病院へ移設予定であり、移設後も相当期間第一線にて使用可能であると考えている。

## 2. 調達物件名及び構成内容

(1	1) 利	多動型 X 線透視診断システム(Cアームタイプ)・・・・・・・・・・・・・	1式
	1.	Cアーム装置 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1台
	2.	X線発生装置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1式
	3.	X線管装置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1式
	4.	X 線検出器装置 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1式
	5.	高電圧発生装置 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1台
	6.	被ばく低減機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1式
	7.	画像処理装置 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1台
	8.	19インチカラー液晶モニタ(2面) ・・・・・・・・・・・・・・	1式
	9.	モニタ台車 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1式
		). フラットディテクター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
		. 1 2 KW オプション ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
		<ol> <li>アクティブクーリングシステム ・・・・・・・・・・・・・・・・</li> </ol>	
		. 面積線量計 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
		DVI ビデオスプリッタ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	1 5	. Cアーム (電動) +位置決めメモリ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1式
		<ul><li>. ワイヤレススイッチ</li><li>. ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	
		7. 2D 距離確度計測機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	1 8	<ul><li>ディテクター側レーザー位置決め装置 ・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	1式

19.	DICOM Send 対応ソフト・・・・・・・・・・・・・1 式
20.	DICOM MWM/MPPS 対応ソフト・・・・・・・・・・・・1式
21.	Retina 3D(術中 3D 撮影機能) ・・・・・・・・・・・・・1 式
22.	ナビリンク 3D(術中 3D 関連オプション)・・・・・・・・・1式
23.	スクリュースカウト(術中 3 D 関連オプション) ・・・・・・・・1 式
24.	ターゲットポインター(術中 3 D 関連オプション) ・・・・・・・・1 式
25.	3D距離計測機能(術中3D関連オプション) ・・・・・・・・・1式
26.	金属アーチファクト補正機能(術中3D関連オプション) ・・・・・・1式
27.	Printer 接続キット ・・・・・・・・・・・・・・・1 式
28.	プリンター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1式
29.	DICOM ネットワーク接続 (PACS・MWM・PSP・RIS)・・・・・・・・1 式
30.	デュアルナビゲーションステーション・・・・・・・・・・1式
31.	プランニングワークステーション(ディスプレイ付)・・・・・・・1式
32.	ORIGIN データマネジメント ELEMENTS パーペチェアル ・・・・・・1 式
33.	ELEMENTS イメージフュージョン・・・・・・・・・・・・・1 式
34.	ELEMENTS ビューワー 3 D ・・・・・・・・・・・・・・1 式
35.	ナビゲーションソフトウェア Fluoro Express 2D ・・・・・・・1式
36.	Spine ソフトウェア ・・・・・・・・・・・・・・・1式
37.	アドバンス3Dアナリシス · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
38.	オートイメージフュージョンソフトウェア ・・・・・・・・1式
39.	INFO; Fluoro $3D$ インストレーション ・・・・・・・・・・1 式
40.	アップデート to Spine&Trauma 3D from バージョン 2.x ・・・・・・1式
41.	レジストレーションソフトウェア FLUORO 3D ・・・・・・・1式
42.	ナビゲーションソフトウェア Knee ・・・・・・・・・・・1 式
43.	DEPUY SYNTHES インプラントインテグレーション・ライセンスサポートパッケージ Knee ・・・・・・・1 式
44.	ナビゲーションソフトウェア Hip ・・・・・・・・・・・1 式
45.	DEPUY SYNTHES インプラントインテグレーション・ライセンスサポートパッケージHip ・・・・・・・1 式
46.	マイクロスコープナビゲーションソフトウェア・・・・・・・・1式
47.	マイクロスコープナビゲーションソフトウェアオグメンティッドリアリティ・1式
48.	マイクロスコープナビゲーションソフトウェアヘッドアップディスプレイ・・1式
49.	マイクロスコープインターフェースケーブル・・・・・・・・1式
50.	マイクロスコープアダプターアレイ付 LEICA M530 OH用 ・・・・・1式
51.	ライセンスサポートナビゲーションソフトウェア spine&Trauma 3D用 ・・1式
52.	ライセンスサポートレジストレーションソフトウェア CT-サーフェイスマッチングよう用・・・・・1式
(2) 周辺	2機器等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1 式
1. 滅	菌カバーL ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1式
2. 滅	菌カバーC アーム用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1 式
3. 線	量測定及び遮蔽計算・・・・・・・・・・・・・・・・・・1式

4. スパイン用アクセサリー・・・・・・・・・・・・・・・1式
5. Knee 用アクセサリー ・・・・・・・・・・・・・・・・1 式
6. Hip 用アクセサリー ・・・・・・・・・・・・・・・・1 式
7. バリオリファレンスアーム メイフィールドヘッドホルダー用 ・・・・・・1式
8. リファレンスクランプ ユニバーサル ・・・・・・・・・・・ 1式
(3) 保守点検業務・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1 式
移動型X線透視診断システム等の保守点検を年間を通じて行う。

上記の他、搬入・据付・配線・既存システムとの接続(接続に要する経費を含む)調整等を含む。

## 3. 技術的要件の概要

- (1) 本調達物件に係る性能、機能及び技術等(以下「性能等」という。)の要求要件(以下「技術的要件」という。)は別紙に示すとおりである。
- (2) 技術的要件は全て必須の要求要件である。
- (3) 必須の要求要件は、発注者の必要とする最低限の要求要件を示しており、本調達物件の性能等がこれを満たしていないとの判断がなされた場合には不合格となり、落札決定の対象から除外する。
- (4) 本調達物件の性能等が技術的要件を満たしているか否かの判定は、広島市立安佐市病院医療機器選定委員会において、本調達物件に係る技術仕様書に対する提案書やその他入札説明書で求める提供資料の内容を審査して行う。
- (5) 本調達物件の構成においては、全て新品であること。引上げ品等使用している場合は落札決定の対象から除外する。

## 4. その他

- (1) 仕様に関する留意事項
  - ① 本調達物件のうち医療用具に関しては、入札時点で「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(旧薬事法)」に定められている製造の承認を得ている物品であること。
  - ② 本調達物件は、入札時点で製品化されていることを原則とする。ただし、入札時に製品化されているい物品で応札する場合は、技術的要件を満たすことが可能な旨の説明書、開発計画書、納期に間に合うことの根拠を十分に説明できる資料及び確約書等を提出すること。
- (2) 提案に関する留意事項
  - ① 提案に際しては、提案システムが本仕様書の要求要件をどの程度満たすか、あるいはどのように 実現するかを要求要件ごとに具体的、かつ、分かりやすく記載すること。したがって、本仕様書の 技術的要件に対して、単に「できます。」「提案します。」といった具体性のない提案書の場合、評 価できないため、不合格とする。
  - ② 提出資料等に関する照会先を明記すること。
  - ③ 提案された内容について、ヒアリングを行う場合があり、ヒアリングについて打診を受けた場合は、必ず対応すること。